

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2018

January
No.1071

1月



本別中央小学校



仙美里小学校

勇足小学校

Pick up

- ✿ 新年のごあいさつ
- ✿ 新春・夢・希望
- ✿ 冬の災害に備えて



新年あけましておめでとうございます。新たな希望を胸に、健やかな新年を迎えられたことお喜び申し上げますと、日ごより町政運営に特段のご理解とご協力をいただいておりますことに、心からお礼申し上げます。

任期満了に伴います町長選挙におきまして、町民の皆様から力強いご支援と心温まるご厚情を賜り、六期目の当選の栄に浴し、引き続き町政の重責を担うこととなりました。これまで多くの皆様からお寄せいただきました信頼と期待に応えるべく、更なる本別町の躍進を目指し、本町のまちづくりの基本理念「ともに学び 支えあい 活力のあるまちづくり」を合言葉に、町民の皆様と共に歩み、対話の町政に全力で取り組む所存であります。

このたびの元職員の秘密漏えい、加重取崩および業務上横領事件に対し、昨年実刑判決が下されました。町といたしましては、この判決を重く受け止めるとともに、あらためて行政の責任の重大さを確認したところでありました。また、この事件により本別町全体の名誉を傷つけ、町民の皆様をはじめ、多くの方々に迷惑をおかけしましたことに対し深くお詫言ひ申し上げます。この事件を職員一人ひとりが心に刻み、日々の業務遂行を通じて本別町役場に対する信頼を一日も早く回復できるように、全力で取り組んでまいります。



新年明けましておめでとうございます。平成30年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆様は、新たな希望を胸に穏やかな新年をお迎えになられたことと存じます。

さて、国内経済に目を向けますと、本年の日本経済は、輸出・生産の拡大や雇用と所得環境の改善による消費の回復を受け、緩やかな成長の持続を見込んでいます。

一方、昨年11月にアメリカを除く11か国が環太平洋連携協定（TPP）の新協定に大筋合意しましたが、TPP発効によって農業をはじめさまざまな分野で影響が出ないよう国等に万全の対策を望むものであります。

その中で、本町の基幹産業である農業は、例年より干ばつ傾向で推移してきましたが、適宜な降雨にも恵まれたことから、特に小麦、ビートなど、ほとんどの品目については平年以上の収穫量、価格も高値が見込まれています。また、十勝管内でも畑作が豊作の見通しとなり、酪農、畜産についても好調を維持しています。

さらに、「昨年より通行止めになっていた日勝峠の通行が再開され、十

う、全力で取り組んでまいります。昨年は、基幹産業であります農業につきまして、植え付け期は高温で経過し、干ばつ傾向で推移してきましたが、その後、適宜な降雨に恵まれたこともあり、生育は順調に推移し、全体的に作物の生育も良く、酪農、畜産を含めて好調に推移したところであり、農業全体が大きく押し上がったことは、大変喜ばしいところであります。

本町の出来事では、4月に本町初となる幼保連携型認定こども園が開園しました。この開園により、本町で育つ子どもたちの保育・教育環境が充実し、これまで掲げてきた「福祉でまちづくり」がさらに幅を広げ、幼少期から老年期までの人々が充実した生活を送ることのできる環境を整備されてきています。この整備が本町が大きく発展していく機会と捉え、まちづくりは人づくりの理念のもと、さらに発展した協働のまちづくりを実践するため、取り組みの推進を図ってまいります。

今後町民の皆様を元気にしたいという思いと時代のニーズを的確に捉え、さまざまな事業に対し積極的に取り組み、総合計画や地方創生に掲げるまちづくりの推進し、本町がさらなる飛躍を遂げる一年とする決意を新たにいたしました。本年もこれまでと変わらぬご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸とご健康を心からご祈念申し上げます。

勝の観光振興や経済活性化の復興により、本町の商工観光産業にも期待がされるところでもあります。

本年は、平昌オリンピック・パラリンピック開催の年でもあります。スピードスケート、カーリング、スキージャンプなど多くの種目で日本勢の活躍を期待しているところであります。特に冬季五輪には十勝、北海道出身の選手が多く出場しますので輝かしい記録、記憶に残る活躍を願っております。

本町議会の役割は、積極的な情報の公開、行政へのけん制や監視、議員の自己研鑽と資質の向上などであり、これらを実践し町民の皆様から信頼される議会をつくらなければなりません。昨年、元町職員の一連の事件については、多くの町民の皆様からの信頼を損なうこととなったことを深く反省するとともに、今後も行政に対する監視機能の責務を全うしていかなくてはなりません。改めて議会の使命を自覚し信頼できる議会、そして、皆様とともに活力のあるまちづくりを進めてまいります。最後にになりますが、新春の門出にあたり、本年が皆様にとつて幸多いことを心から願い、年頭のごあいさつといたします。

本別町長
高橋正夫
Masao Takahashi



本別町議会議長
方川一郎
Ichiro Katakawa



迎春



- 【役場】
 - 町長 高橋正夫
 - 副町長 大和田 収
- 【町議会】
 - 議長 方川一郎
 - 副議長 高橋利勝
 - 議員 阿保静夫
 - 林 武
 - 方川英一
 - 小笠原良美
 - 黒山久男
 - 山西三三夫
 - 大住啓一
 - 篠原義彦
 - 藤田直美
 - 矢部隆之
- 【教育委員会】
 - 教育長 中野博文
 - 教育委員 布施耕一
 - 鈴木清志
 - 丑若理恵
 - 遠山倫子
- 【選挙管理委員会】
 - 委員長 小林信雄
 - 職務代理者 山下孔三
 - 委員 天池二郎
 - 齊藤一成
- 【監査委員】
 - 代表 畑山一洋
 - 委員 黒山久男

- 【公平委員会】
 - 委員長 大和田和盛
 - 委員 矢野邦夫
 - 新津直子
- 【農業委員会】
 - 会長 山西輝美
 - 会長代理 荒木幸造
 - 委員 佐々木幸一
 - 斎 等
 - 河野一紀
 - 牧田安史
 - 石山ひろのり
 - 荒 哲弘
 - 川初光章
 - 小坂好弘
 - 久常直樹
 - 齊藤一成
 - 中野康夫
 - 細田 昇
 - 風間 進
- 【社会教育委員】
 - 委員長 阿部 立
 - 副委員長 志戸由美子
 - 委員 能祖美恵子
 - 沼田久枝
 - 小川末男
 - 井出良則
 - 渡辺晃史
 - 吉田弘子
- 【本別消防団】
 - 団長 遠藤利之
 - 副団長 三井孝寿
 - 矢野邦夫
 - 伊藤英昭
 - 本団部長 木下登美夫



ぼくたち わたしたち

2018年の干支はいぬ(戌)。平成18年生まれで今年、足小、仙美里小合わせて47人。将来の夢、今年頑張り

本別中央小学校

【5年生】

- ☆夢IIプロ野球選手 市村 凜
- ☆夢II大工 家を建てる 稲田 漣
- ☆夢IIいい大学に入って、いい会社に入りたいです 小川晴生
- ☆柔道の練習を頑張っ、大会で活躍したいです 貝瀬颯一
- ☆夢II有名なパティシエール 川橋陽菜
- ☆テストで100点を多くとること 菊池有太

☆小学校最後の野球人生、十勝を制覇する 木村元氣

☆野球で足寄に勝って全道に行く 木村悠希

☆ピアノの練習を頑張りたい 佐藤希咲

☆夢II保育士。子供たちがすこくかわいいからです 武田紗弥

☆漢字50問で一発合格できるように漢字を学習する 竹村遙風

☆サッカーのキャプテンでしっかりとみんなを引っ張っていききたい 塚原優太

☆スケートの全日本の大会で2位以内に入って東京合宿に行くこと！ 柘原明巳

☆野球の大会で優勝する 永井奏音

☆柔道の大会で優勝する 中田龍玖

☆夢II柔道オリンピック選手 南部弘輝



☆少年団を頑張り、修学旅行をたのしみたいです 松本幸晟

☆陸上の大会で1位を取ることです 真鍋里緒

☆全部のテストで100点を取る 望月和奏

☆野球でヒットを打つ。十勝を制覇する 山口暖人

☆夢II声優、看護師、バドミントン選手、介護士 山西麻央綾

☆夢IIプロ野球選手。投手で活躍できるようにになりたい 渡邊祥太

【6年生】

☆中学生になったら勉強と部活を両立して頑張りたいです 伊藤衣那

☆夢IIハンター 岩崎暖永

☆夢IIピアノリスト 鎌田龍吾

☆中学校でも勉強を頑張ります！ 菊池深月

☆夢IIサラリーマン 志谷富海也

☆夢II宇宙飛行士 田村優月

☆夢II会社員 寺内大貴

☆夢IIパティシエや調理師など料理関係 平田雄大

☆サッカーの全道大会に出場すること 福地悠生

☆夢II洋食のシェフ 前田泰河

☆夢II看護師。みんなの病気を治したい 吉村華瑠

いぬ年生まれ

年男、年女になる子供たちは中央小、勇たいことなどを聞いてみました。(敬称略)



新春

夢

希望

一人ひとりに個性があり、夢がある。今の気持ちを忘れずに、君だけのよさを輝かせよう！



仙美里小学校

【5年生】

- ☆夢IIコックさんか機械の修理屋さんになりたいです 大沼芳輝
- ☆夢II卓球選手 小倉瑠偉
- ☆お母さん、お父さんが仕事のとときに、家事を頑張りたい 新津優羽
- ☆夢IIプロ野球選手 原田侑樹
- ☆小学校生活最後の一年なので、勉強と少年団を頑張りたいです 本寺愛菜
- ☆しっかり勉強をして、テストで100点をたくさんとりたい 山田真姫



勇足小学校

【5年生】

- ☆算数を得意にしてミスをなくしたい 井内千尋
- ☆勉強をして、テストで百点を取れるようにがんばりたいです 井原愛結
- ☆最高学年として自覚と責任のある行動をしたいです 西久保春稀
- ☆自覚と責任を持って全校をひっぱれるようにがんばります 山田咲矢花



【6年生】

☆夢IIミュージシャン。歌で世界を笑顔にしたい 岡林龍聖

冬に準備しておきたい主な非常持ち出し品リスト

- | | | |
|---|-------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防寒具（帽子、手袋、ジャンパー、スキーウェアなど） | <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ |
| <input type="checkbox"/> 衣類（厚手の長袖、長ズボン、厚手の靴下など場合によっては2枚あると便利） | | |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> 防寒シート（アルミ） | <input type="checkbox"/> 食料、飲料水 |
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> カセットボンベ | <input type="checkbox"/> 電池 |
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> 常備薬、持病薬 |
| <input type="checkbox"/> その他（ | | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| | | <input type="checkbox"/> スコップ |
| | | <input type="checkbox"/> 現金・貴重品 |
| | | <input type="checkbox"/> 救急袋 |
| | | <input type="checkbox"/> 携帯用ラジオ |

キリトリ

冬災害の最大の敵は、雪と寒さです。夏とは違い、屋外の避難は困難なため、建物へ避難することになります。停電などにより暖房器具が使えない場合に備え、上記の主な非常持ち出し品リストを参考に、自宅や車内に災害用品をまとめておきましょう。すぐに用意できない場合や買い足す必要があるときには、切り取って保存しておくことをおすすめします。

準備

厳寒と雪に備える
寒さは、人の体力を急激に奪います。また、地震が発生したときに雪が降っていたり積もっていた場合、避難したくても、すぐに行動できません。日ごろから、冬の防災用品として使い捨てカイロやスコップを用意しておくとともに、住宅敷地内や玄関先、窓や通用口付近もこまめに除雪して避難経路を確保しておきましょう。

暴風雪への備え
冬は天候が急変することがあり暴風雪が予想されるときには、外出を控えるとともに、テレビやラジオなどで防災情報に注意しましょう。

車内で救助を待つ間は換気の徹底を
吹きだまりや積もった雪により車が動かない状態で、避難できる場所や救助を求められる人・家がない場合は、消防（119番通報）や警察（110番通報）へ連絡しましょう。救助を待つ間は、車のマフラーが雪に埋まらないように定期的に除雪し、窓を少し開けて換気をお願いします。

暴風雪のときにやむを得ず車で外出するときは

- ① 防寒具や長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に積んでおく
- ② 車に燃料が十分あることを確認する
- ③ 運転していて危険を感じたら、無理をせずに、ガソリンスタンドやコンビニエンスストアなどで天候の回復を待ちましょう

問い合わせ 住民課環境生活担当 ☎ 22-8128

冬の災害に備えて

近年、真冬にはマイナス25℃を下回る日もある、本別町。寒さの厳しい季節に、大きな地震が発生し、停電になった場合や家屋が倒壊したとき、あなたの備えは万全ですか？大雪で車が動けなくなったり、きの心構えはできていますか？雪被害は、天気予報によりある程度予想できる場合がありますが、地震災害は、いつ発生するかわかりません。夏とは違った冬の災害を想定し、しっかりと対策をしておきましょう。

訓練

災害は、いつ起きるかわかりません。突然の非常時に備えるためには、訓練と準備が大切です。災害に強いまちづくりには、行政だけでなく、地域との連携も不可欠です。自助・共助の防災力を育む取り組みをより一層推進し、防災訓練を継続していく必要があります。

冬の避難所運営を考える

本別町冬季防災訓練

本別町冬季防災訓練が11月24日午後6時から、本別中央小学校第1体育館で実施されました。訓練は、震度6強の地震により家屋の倒壊、町内で負傷者が多数出ている想定のもと行われ、町民や役場職員、本別警察署員など84人が参加。本別消防署員による救命講習のあと、北海道大学大学院工学研究院の森太郎准教授を講師に、避難所運営ゲーム（HUG）が行われ、参加者は10グループに分かれて積雪寒冷の状況下における避難所運営の手法について図上訓練に取り組んだほか、16人が翌朝まで暖房のない状況での避難所宿泊を体験しました。



1. 救命講習の様子
2. 災害時に活用されるダンボールベッド。宿泊者は、組み立ても体験しました
3. 避難所運営ゲーム（HUG）に取り組む参加者。カードから出題される避難者の状況に応じ、避難所内のどこに避難してもらおうか意見を出し合い、適切な避難所運営を考えました



南2丁目自治会でも防災訓練

12月3日には、南地区集会場において南2丁目自治会（北口義美会長）防災訓練が行われ、同自治会の会員26人が大雨による利別川氾濫や浸水被害を想定した図上訓練に取り組み、避難経路や危険箇所、要配慮者の支援体制を確認し、自主防災組織の強化を図りました。





和やかな雰囲気で行われたトークショー会場には約250人が来場し、応援大使とふれあいました



学校やこども園を訪問
トークショーで町民と交流



6



7



8

北海道日本ハムファイターズ179市町村応援大使2017本別町応援大使の有原航平選手と大累進選手が11月22日、来町しました。応援大使の二人は、高橋正夫町長と黒山久男北海道日本ハムファイターズほんべつ後援会長を表敬訪問した後、本別中学校や認定こども園ほんべつを訪れ、子供たちとふれあいました。また、渋谷醸造ではキレイマメなど特産品の試食や味噌づくりを体験。最後に、町体育館で開かれたトークショーへ登場した応援大使は、司会の進行のもと、自身の少年時代の思い出や仲の良いチームメイトの話などを、試合やテレビでは見られないリラックスした表情で語りました。二人のサイン入りグッズが当たる抽選会も行われ、約250人の来場者は大いに盛り上がりました。

応援大使がやってきた!

11/22



- 1 応援大使から町に特大のサインボールが贈られました
- 2 等身大パネルに直筆サイン
- 3 本別中学校では代表6人とキャッチボールで交流
- 4 本別町特産品の豆を使った味噌づくりでは「かえし」工程を体験
- 5 6こども園では応援大使が絵本の読み聞かせを行ったほか、2人の好きな食材を参考に「こども園給食」を実施
- 7 8こども園では応援大使が「野球を始めたきっかけは？」トークショーではどんな質問にも誠実に回答
- 8 抽選会では応援大使のサイン入りグッズがプレゼントされました

1年間、本別町の応援ありがとうございました
お二人の来シーズンの活躍を期待しています!



平成30年度から国民健康保険制度が変わります

その2

平成30年4月から新たに始まる国民健康保険制度について
前回12月号に引き続き、お知らせします。

制度改正に伴い
次の通り変更を
検討しています

- 国税計算方法の変更(予定)
 - 旧 4方式(所得割・資産割・均等割・平等割)
 - 新 3方式(所得割・均等割・平等割)に変更
- 税率改正(予定)
 - 旧 現行税率
 - 新 道が示す標準保険税率を参考に変更
- 納期(予定)
 - 普通徴収(納付書・口座振替)
 - 旧 6期(7月・12月)
 - 新 8期(7月・翌年2月)に変更
- 被保険者証の変更(決定)
 - 旧 有効期限が2年
 - 新 有効期限が1年に変更(8月1日・翌年7月31日)
また、70歳以上の人は被保険者証と高齢受給者証が一体に
- 葬祭費(決定)
 - 旧 1万円
 - 新 3万円に変更

- 3月 町国民健康保険運営協議会開催
- 2月 納付金額および標準保険税率確定
- 3月 町国民健康保険運営協議会開催

住民課国民健康保険担当
022-81-2800
問い合わせ

住民説明会が開催されました

12月6日から8日までの3日間、本別、勇足、仙美里地区で国民健康保険制度改正について、住民説明会が開催されました。説明会では、制度の主な改正点や税率改正等について、担当者から説明がされ、会場からは次のような質問が出されました。(抜粋)

- Q 医療機関を受診したときの一部負担割合(加入者が病院で支払う負担割合)は変わるの?
 - A 変更ありません
- Q 国保税額は上がるの?
 - A 下がるの?
 - 税率改正(現在よりも上がる)をする予定なので、基本的には税額は上がります。ただし、国保税の計算方法を4方式から資産割を除く3方式に変更(上記参照)する予定なので、固定資産を下がる可能性があるようです
- Q 加入者の国保税額が増加する場合、町では負担をしないの?
 - A 町が負担する予定はありません。町の負担を無くすのが、この制度改正の目的の一つとして挙げられています。なお、平成30年度からは、町が国保税増加分を負担した場合に赤字団体と見なされ、赤字解消計画を作成しなければなりません
- Q 70歳以上の人は、保険証と高齢受給者証が一体になるの?
 - A 証のサイズは変更になるの?
 - ほぼ同じ大きさになる見込みです



意見発表する内田里穂さん



真足地区CS推進委員会の実践発表



開会式では、高橋正夫町長のあいさつの後、本別中学校3年の内田里穂さんが「向き合う」をテーマに堂々と意見を発表。続いて、勇足地区コミュニティ・スクール（CS）推進委員会の阿部立委員長が平成30年度のCS導入に向けた取り組みについて、実践発表をしました。

会場では、ちびっこフェスタと題してインディアンのおまもり「ゴッドアイ」づくりやアイヌ文様のぬりえ・切り絵のコーナーが人気を集め、また、小学生を対象にした「だがしや楽校」では、会場内で受付や食堂、本別高校のPRなどのお仕事を体験。子供たちは各ブースで仕事の対価として受け取った「ピース」を、駄菓子と交換しました。

この他にも、ニュースポーツや伝統文化の体験、落語読み聞かせライブ、民謡やバンド、吹奏楽の演奏会、バザー、各種展示など、1日を通してさまざまな催しが展開され、会場を訪れた町民や教育関係者ら350人は、子供たちの学び体験や学びの発表を通して、家庭・学校・地域が一体となった豊かな心を育むまちづくりの必要性を再認識しました。

ほんべつ学びフェスタ2017

「まなんでつくるひととまち」をテーマに、ほんべつ学びフェスタ2017（実行委員会、町、町教育委員会主催）が12月2日、中央公民館で開催されました。

大人と子どもが一緒になって豊かな心を育む



だがしや楽校では子供たちがさまざまな仕事を体験

町内のサークルや団体等が一同に集まり、日ごろの活動の成果を披露するこの祭りに、今年度は21団体・サークル、7個人が出展。会場では手作り雑貨や衣料品などのフリーマーケットや、健康や食生活・行政に関する相談、オリジナルエコバック制作、絵本読み聞かせなどの催しのほか、無料包丁とぎや生ごみ堆肥の無料配布など恒例のイベントが実施されました。また、鉢花や野菜、豆加工品などの販売や喫茶コーナー、そば・うどんの食事コーナーも盛況で、多くの人が語らいのひとときを過ごしました。ブースで買物や体験をした人を対象にキレイマメ製品や各団体お薦めの商品などが当たる抽選会も行われ、当選者が出るたびに大きな歓声があがりました。



地域活動を発信し多彩な催しで交流

「ともに暮らしを豊かにするネットワークづくり」をテーマに、いきいきほんべつふれあい祭り（実行委員会主催＝新津和也実行委員長）が11月19日、中央公民館で開催され、約800人の来場者が、出展者との交流を楽しみながら、地域の活動に理解を深めました。



いきいきほんべつ
ふれあい祭り

各学校の手作りページ

HELLO 農業大学校

農大の魅力を ダイジェストで 紹介します!

農大祭・体育祭

7月1日～2日の2日間、「空前絶後の農大祭」をテーマに、第44回農大祭を開催しました。1日目の体育祭は、天候にも恵まれ、実習で培った体力を余すことなく発揮し、熱戦が繰り広げられました。2日目の一般公開は、来場された地域の皆さんも、焼き肉やカラオケ大会、クイズ大会と一緒に盛り上がりました。後夜祭では数年振りに打ち上げた250発の花火がフィナーレを演出しました。



フィナーレを飾った花火



大盛況の一般公開



白熱の体育祭

農大市

10月21日、農畜産物の商品管理・販売・会計などの一連の流れを実践的に学習することを目的に「農大市」を開催しました。



黒毛和牛の試食



農産物の販売



かぼちゃパンの販売

北の農学校

11月10日、本別中央小学校の1年生を対象に北の農学校を開催しました。ブラッシングや搾乳体験、アイスができるまでの工程など、酪農に関わる内容を楽しく学習しました。



乳牛の観察



搾乳体験

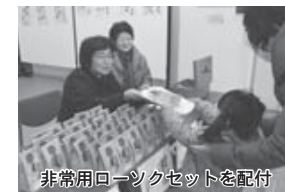


農大産のアイスクリームを試食

約180人の来場者が障がい者活動への理解を深める



平成29年度 障がい者週間 記念事業



非常用ローソケットを配付



宣言を読み上げる土本直美副会長



展示コーナーも充実



加盟団体の取り組みをビデオ上映

チャレンジド・ネットワークほんべつ（新津和也会長）が主催する「障がい者週間記念事業」が12月9日、「未来へ向けて共に生きるまち」をテーマに、中央公民館で開催されました。

創作劇で障がい者差別の解消を訴える

開会式の後、同ネットワークほんべつ加盟団体の活動報告として、町内にある4つの障がい者支援事業所の日常の様子をビデオで上映。活動の内容がテロップで流れ、利用者へのインタビューも交えるなど、各施設の取り組みがわかりやすく紹介されました。

創作劇「ともに地域で暮らす」では、町内の福祉施設で働く4人が、車椅子のため喫茶店への入店を拒否された障がい者の事例を熱演。不当な差別的取り扱いの解消を訴えました。また、高橋正夫町長が平成29年12月から施行されている町職員差別解消対応要領について報告し、最後に同ネットワークほんべつの土本直美副会長が「障がい者差別解消」に向けた取り組みを積極的に推進する宣言を読み上げました。

このほか会場では、加盟する11団体1個人が、カレーライスやソーセージ、クレープなどの食べ物や小物などを販売したほか、作品展示なども行われ、約180人の来場者は障がい者の活動に理解を深めながら、楽しいひとときを過ごしました。



差別解消をテーマにした創作劇で、来場者は障がい者との共生社会を理解

おさかな、いっぱい つれるかな 11/27

家庭教育支援事業なかよし「ちびっこ運動会」が11月27日、健康管理センターで行われました。参加した町内の35組78人の親子は、体操のあと、かけっこやチーム対抗のさかな釣りゲーム、おやつ競争リレーに挑戦。子供たちは、ハイハイやよちよち歩きでゴールにいるお母さん目指して懸命に歩いたり、磁石のついた魚のイラストをたくさん釣り上げるなど、元気いっぱいに運動会を楽しみました。



キックベースに挑戦 11/25

町教育委員会主催のあかげら少年団が11月25日、銀河アリーナで開催されました。後期第1回目となるこの日は、キックベースに初挑戦。野球に似た競技ですが、足でボールを蹴って競技がスタートします。指導するスポーツ推進委員から競技の説明を受けた28人の団員は、3チームに分かれてプレーし、室内で思い切り体を動かして楽しみました。あかげら少年団では、後期から参加者の募集方法を、開催ごとの募集に変更しています。



介護職員初任者研修 修了者として認定 11/18

介護職員初任者研修（本別町介護サービス事業所連絡会主催）の修了式が11月18日、あいの里交流センターで行われました。受講生の一般7人、本別高校生2人は、7月末からの約4か月間、計21回130時間の講義を受講し、この日は最後の修了試験に挑み、見事全員合格。同連絡会の加藤徹己副会長から、一人ひとりへ修了証明書が手渡され、北海道の介護職員初任者研修修了者として認定されました。



本別町の特産品を 十勝にPR 11/16~21

第23回とから大収穫市が11月16日から21日の6日間、帯広藤丸百貨店で開かれ、本別町観光協会と町内の事業所が出品し、本町の特産品を販売・PRしました。販売したのは、小豆や黒豆など今年の新物の生豆、牛肉、キレイマメ商品や菓子など約100品目。例年、本別の豆を楽しみにしているリピーターも多く、本別町のコーナーは大変にぎわいました。



一流の農家になる！ 新たな担い手を激励 11/28

町とJA本別町が主催する平成29年度の新規就農者激励会が11月28日、津村会館で行われました。激励会には、町内にUターンや結婚などで新規就農した、単身者6人と夫婦2組の4人が参加。町やJA本別町、農業委員会などから農業関係者23人が出席し、激励しました。懇親会では新規就農者が一人ひとり自己紹介を行い、「地域の先輩を見習って一流の農家になりたい」「いつも父親に指導を受けているが、いつか越えたい」などと就農への抱負を語りました。



相手への思いやりを大切に 11/26

本別中学校PTA（井出良則会長）主催の教育講話会が11月26日、KDD Iスマホ・ケータイ安全教室の山田一郎氏を講師に、同校体育館で行われました。山田氏は「安心・安全なスマホ・ケータイライフのために」と題して講演し、インターネットで犯罪に巻き込まれる例やSNSによるトラブルの事例を紹介。「ネットコミュニケーションは顔が見えず、勘違いによるトラブルが多い。自分の行動により相手どのような気持ちになるか、思いやりの気持ちを忘れずに、普段の会話を大切に」と訴えました。参加した同校生徒や保護者、地域住民など約200人の参加者は、講師の説明にうなずきながら、楽しいコミュニケーションのあり方について学びました。



古文書解読に挑戦！ 11/25

ほんべつ学「はじめての古文書〜本別に残された古文書を読んでみよう〜」が11月25日、図書館視聴覚室で行われました。町内での古文書教室は初開催で、町内外から18人が参加。午前の部は、北海道立文書館の山田正文書専門員を講師に迎え、古文書を読むための基礎知識として、くずし字や語句の特徴などを学び、同文書館が所蔵する本別関連文書の解読に挑戦しました。午後の部は、帯広百年記念館の大和田努学芸員が講師を務め、午前の部を踏まえて、町歴史民俗資料館所蔵の利別農場史料を解読。参加者は、明治時代の公文書や勇足地区の渡船管理の証書などをテキストとして、昔の文章を丁寧に読み、その背景にあるふるさとの歴史の面白さにも触れました。



本別産食材の 恵みに感謝 11/17

本別を味わおう！と題した「ふるさと給食」が11月17日、町内全小・中学校で行われました。この取り組みは、町内で生産されている農畜産物や加工品について知り、食品の栄養や働き、食の大切さについて理解を深めていただくことを目的に実施されています。この日のメニューは本別黒豆豆腐味噌ラーメン、本別野菜の中華ちまき、本別豆乳杏仁豆腐の3品で、本別中央小学校4年生40人の2学級では、「親子ふれあい給食」として、小田恵里奈栄養教諭らがメニューを紹介。食材の生産者や加工業者の10人も各教室で児童・保護者と一緒に給食をいただき、ふれあいのひとときを過ごしました。



未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね！



北4丁目
渡辺 琥とら 徹ととくん
(梓ママ)



中学校
田畑 佑たけ 樹きくん
(真由美ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

旭川市の照井さんに

感謝状贈呈

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付に10月16日付けで2000万円の寄付をされた旭川市の照井由紀さんに対し12月3日、高橋正夫本別町長から感謝状が贈呈されました。照井さんのご家族は、父親の仕事で昭和15年までの数年の間、仙美里に住んでいたことがあり、平成29年5月に亡くなった姉の郁子さんによって、家族で過ごした幼少期の良い思い出が強く記憶に残っている場所であったこと、町内の親戚宅に遊びに来ていたことなど、昔から縁があったとのこと。感謝状を受け取った照井さんは「暖かい季節になったら、本別町を訪問したい」と話しました。



照井由紀さん（左から2人目）とご親族

ご寄付ありがとうございます

平成29年11月16日から12月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町公共施設等整備基金
金 500,000円 南3丁目 砂原 勝
- ★図書館図書購入費指定
金 200,000円 南2丁目 岡崎 勉
金 20,000円 柏木町 吉田登喜子

★仙美里へき地保育所指定
子ども用トランポリン 2台
..... 足寄町 斉藤井出建設親睦会

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
金 500,000円 南3丁目 砂原 勝
金 50,000円 仙美里別東 幕内由房
計 金 8,890,000円 566人
(上記含む)

※町内の寄付者を掲載させていただきます

みんなの健康

401

本別町では、今後も高齢化が進み、介護を必要とする人がますます増えることが予想されていますが、皆さんは「ショートステイ」という介護サービスをご存じですか？

「ショートステイ」を利用して介護者の負担軽減を！

ショートステイとは、自宅で介護を行っている人が、旅行や冠婚葬祭等で家を空けるときや、急な病気やけがで介護を行うことが困難になった場合、または介護を一時休みたいときなどに、数日から数週間、介護を必要とする人が自宅ではなく施設に泊まっていたり、食事や排泄、入浴等の支援を受けながら日常生活を過ごしていただくサービスのことで、ショートステイを利用する大きなメリットは、介護者の負担が軽減されることです。ある調査によると、自宅で介護を行っている約7割の人が身体的・精神的負担により疲労を

感じているとされています。ショートステイの利用により、介護者が定期的に休息を取り、リフレッシュすることで、ストレスの軽減につながり、自宅での介護を無理なく継続することが出来ます。また、負担軽減以外にも、他の利用者との交流や老人ホームのイベントへの参加、看護師による体調管理など、さまざまな理由で利用されています。将来的に施設入居を考えている場合は、ショートステイの利用によって施設への環境や雰囲気を知ることができ、入所時の不安が軽減されます。



本別町老人ホーム生活相談員 鈴木 隆一

介護1～5）要介護認定（要支援1～2、要介護1～5）

陸別町

第7回
ウツドキャンドルナイト
午後4時～

足寄町の森林資源であるカラマツ材を有効活用したウツドキャンドルやアイスキャンドルの灯りが幻想的に会場を照らす、足寄の冬を楽しもうイベントです。

□日時 2月3日(土)
□内容 あしよる観光協会
□内容 ウツドキャンドルによるマジック
□内容 焼き体験、餅つき隊によるお餅の無料提供、軽音楽コンサート、こども滑り台 ほか
※内容は変更になる場合があります

□内容 陸別町イベント広場
□日時 2月3日(土)
4日(日)

第37回 しばれフェスティバル

今年のはばれフェスティバルも盛りだくさんの企画で皆さんをお待ちしております。ぜひお来場ください。

□内容 陸別町イベント広場
□日時 2月3日(土)
4日(日)

本のある暮らし 202

西郷どん

～本で味わい、
ドラマで楽しむ西郷隆盛～

戸籍のまど

お誕生

11月後半から
12月前半の
届出分

- 岸上 実滯^{みれい ちん} 裕哉^{ゆうざい} 11/21 柏木町
- 若林 英臣^{えいしん} 健一^{けんいち} 12/1 栄町
- 荒 朝陽^{あさひ} 康平^{こうへい} 12/13 北穂自治会

ご結婚

- (牛渡 広和^{ひろかず} 活込^{かつこ} 込込^{こんこん} 陽子^{ようし} 東京都)
- (細田 拓郎^{たくらう} 仙美里3^{せんみり} 納谷 琴代^{ことよ} 中札内村)
- (瀧澤 博司^{ひろし} 明美^{あけみ} 浮穴 幸^{あき} 音更町)

おくやみ

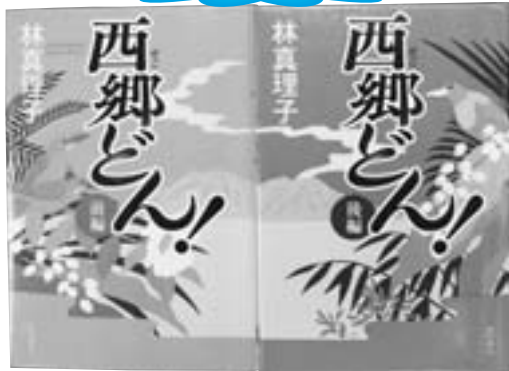
- 小川ゆり子^{ゆりこ} 89歳 11/16 北3丁目
- 三沢百合子^{ゆかり} 81歳 11/16 仙美里元町
- 阿部 一秀^{かずひで} 80歳 11/17 共栄
- 幕内ヤス子^{やすこ} 87歳 11/20 美里別高東
- 杉本 進^{しん} 82歳 11/21 西仙美里
- 寺地 喜平^{きへい} 91歳 11/22 月見台
- 渡辺 勝^{かつ} 68歳 11/23 栄町
- 山田 善司^{ぜんじ} 69歳 11/26 押帯
- 高平 公司^{こうし} 72歳 12/3 向陽町
- 大西 勝^{かつ} 84歳 12/4 北2丁目
- 飯居 力^{ちから} 85歳 12/9 錦町
- 橋場 正男^{まさお} 79歳 12/9 山手町

わたしたちのまち

前月比
人口 **7,258人(-25)**
男 **3,568人(-11)**
女 **3,690人(-14)**
世帯数 **3,705戸(-8)**
〔11月末日住民基本台帳〕

2018年のNHK大河ドラマは「西郷どん」。江戸から明治に変わる波乱の時代を生きる西郷隆盛を、直木賞作家・林真理子がいきいきと描きます。「西郷どん」という呼び方は鹿児島県特有のもの。地元の人々にとってそれだけ彼は身近な存在であり、今も愛されているのでしょう。たくさんの展示図書の中から、おすすめの3作を紹介します。

ドラマの原作小説



時は幕末、薩摩の下級藩士の家に生まれた西郷隆盛。その激動の青春と維新にける情熱が、息子菊次郎の回想という形で書かれています。

「西郷どん！」
林 真理子 / 著

入門書に最適



「西郷どんとよばれた男」
原口 泉 / 著

数々の大河ドラマの時代考証を手がける著者が、薩摩ならではの西郷どんの魅力を発信。人物と歴史がよくわかります。

写真と対談でリアルに語る



「西郷隆盛を知る」
文藝春秋特別増刊号

司馬遼太郎、塩野七生ら豪華な顔ぶれによる検証で、西郷隆盛の実像に迫ります。原作者の裏話とドラマの見どころも紹介。

今年は明治元年から150年。明治維新を語る上で欠かせない人物、実は謎の多い西郷隆盛の秘密を探ってみませんか？

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称：ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112